

オーストラリア金融政策（2025年12月）

3会合連続の政策金利据え置き

2025年12月9日

焦点は来年の利上げ転換に移行

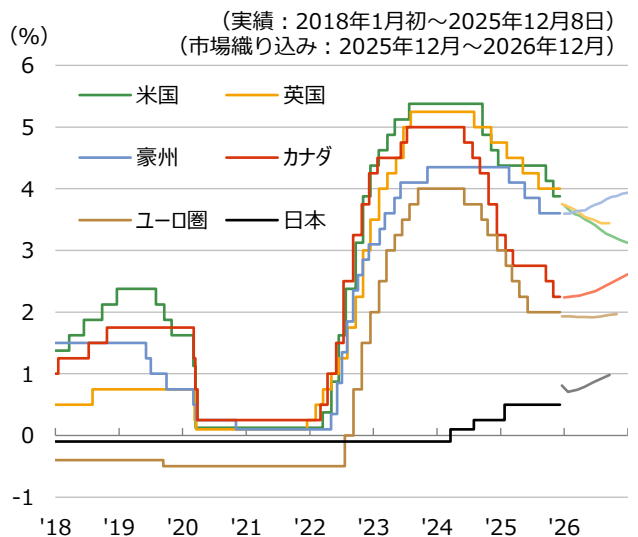
RBA（豪州準備銀行）は12月8日（現地、以下同様）から9日に開催した理事会で、市場予想通り政策金利を3.60%に据え置くことを決定しました。据え置きは3会合連続です。

豪州の消費者物価指数（前年比）は今後数四半期にわたりインフレ目標レンジ（2～3%）の上限を上回って推移すると見込まれる中、足元では景気回復見通しの強まりとともに住宅市場の過熱も意識されており、市場は来年の利上げ転換を織り込む動きとなっていました。そのため今会合の注目点は、今年2月からの利下げ局面が完全に終了したとの認識で問題ないか、また来年の利上げに対するRBAのスタンスを確認することにあります。声明文では、次の一手に関して具体的な言及がなかったものの、企業の人手不足が継続し、設備稼働率が長期平均を上回る中、予想を上回る民需の回復が続けば供給制約が強まるとし、「最近の指標でインフレのリスクは上方に傾いた」と記されました。また、ブロックRBA総裁は会見で「利下げは全く検討しなかった。来年のある時点で利上げを判断する場合の状況や必要条件についての検討と議論にかなりの時間を費やした」と発言し、焦点は来年の利上げに移ったことを明らかにしました。

豪州の具体的な利上げ時期は不透明ですが、米国は利下げ局面の継続が予想され、来年前半には豪米の政策金利は逆転することが見込まれるため、豪ドルは相対的に強含む展開を想定します。

（執筆：調査部 岩手幸久）

各国・地域の政策金利（実績と市場織り込み）



豪州の設備稼働率と失業率



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management